

令和4年9月27日

国土交通省九州地方整備局
大隅河川国道事務所

肝属川河口付近（塩入川）の水質事故について （最終報）

○肝属川支川塩入川左岸の唐仁第4樋管（東串良町新川西地内）で9月20日に重油が確認された件について、同日中にオイルフェンス及び吸着マットを設置して回収作業を行ないました。本日、現地調査を行った結果、油膜は確認されなかったため、16時00分にオイルフェンス及び吸着マットを撤去しました。

○肝属川水質汚濁防止連絡協議会の構成機関（東串良町、肝付町、大隅地域振興局等）には、事務局から連絡済み。

○現時点で魚のへい死等の被害情報はありません。

○水質事故の概要

1. 発見日時 : 令和4年9月20日(火) 7時00分頃
2. 発生場所 : 肝属川支川塩入川（鹿児島県管理区間）左岸 唐仁第4樋管
3. 発生原因 : 台風14号の強風で飛ばされた簡易トイレが農地の貯油槽のパイプに当たり、重油が漏れて水路に流入。

※台風14号の強風が原因と思われる水質事故が多発しました。油類を取り扱う企業や地域住民の皆様におかれましては、台風接近時のボイラー類の元栓全閉、台風通過後の配管システムの点検をお願い致します。

<問合せ先> 肝属川水質汚濁防止連絡協議会事務局

国土交通省 九州地方整備局 大隅河川国道事務所

副所長（河川・砂防）

しもむら しんいちろう

下村 慎一郎（内線204）

河川管理課長

たはら ひでき

田原 秀樹（内線331）

電話0994-65-2541 FAX0994-65-9630